

株主のみなさまへ

第10期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日



ICDAホールディングス株式会社

証券コード：3184

バリューチェーンクロス・ミックスマジネスを強化し、

株主のみなさまには平素より温かいご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ここに当社第10期通期の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

第10期では、国内新車販売台数は529万9,587台(前期比1.2%増【自販連調べ】)と国内新車販売台数が3年連続500万台を突破しました。

当社主力事業のホンダは、軽自動車N-BOXが23万9,706台(前期比7.3%増)と国内新車販売台数で3年連続No.1と牽引し、国内新車販売台数は74万8,729台(前期比3.3%増)となりました。また輸入車国内新車販売台数は30万8,143台(前期比1.1%増【日本自動車輸入車組合調べ】)、当社取扱ブランドではVW5万2,044台(前期比8.1%増)、Audi2万3,917台(前

期比16.4%減)と引き続き厳しい状況の中、ポルシェセンター鈴鹿は2018年12月をもって撤退しました。現在輸入車事業は厳しい状況の中でビジネス改革を推進中であり、また中古車事業はIoTビジネスを強化し、グループ自動車リサイクルセンターとのコラボレーションにより、リユースパーツ活用など、順調にグループ高収益事業となっております。また2017年1月にオープンしたグループ6カ所目の亀山オートモールは、2年で黒字化し、今期は上場来最高の売上高と利益となりました。

事業部別の売上高は、新車部門(ホンダ車)は前期比113.8%、輸入車新車部門は同111.3%、中古車部門は同103.1%、サービス部門は同105.1%、自動車リサイクル部門同106.1%となっております。

今期の国内新車販売は、2019年10月か

新たな成長ステージへ

らの消費税増税等により500万台維持が予想されています。この厳しい経営環境を認識し当社グループは事業計画を立案しました。非成長部門の縮小・撤退、成長部門への投資を徹底することにより、自動車流通バリューチェーンクロス・ミックスマジネスを強化し、事業計画を達成するために積極的に推進してまいります。また、消費税増税後のリセッションをも成長に繋がるチャンスだと捉えビジネスを展開してまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

向井 弘光

CONTENTS

株主のみなさまへ	1	連結財務データ	5
ビジネスモデル	3	コーポレートデータ	裏表紙
グループトピックス	3		

当社は、新車や中古車の販売からメンテナンス、下取り、買取り、車のリサイクルまで、お客様のカーライフにおける全てのシーンに関わる「生涯カーライフパートナー」を当社のあるべき姿と考えております。

この自動車の流通経路の全工程に携わる独自の好循環モデルを「バリューチェーンクロス・ミックスビジネス」と呼んでおります。

自動車販売関連事業

株式会社ホンダ 四輪販売三重北

- ・ホンダカーズ三重北
- ・ホンダオートテラス
- ・ヴァーサス
- ・POINT[®]



Honda Cars 三重北

- 新車販売 (本田技研工業株式会社 正規ディーラー)
- 中古車販売・買取 (全メーカー)
- サービス

自動車リサイクル事業

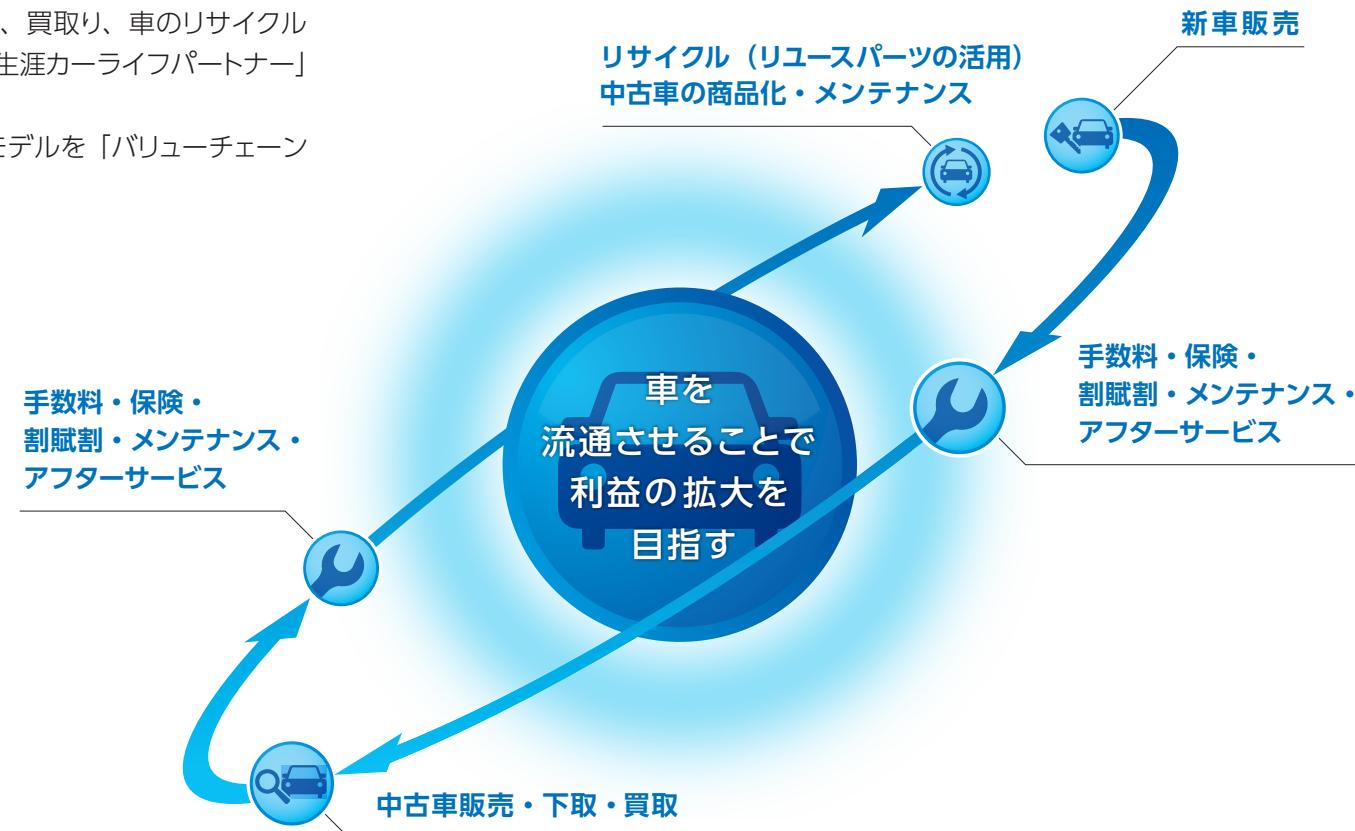
株式会社マーク・コーポレーション

- ・鈴鹿オートリサイクルセンター



鈴鹿オートリサイクルセンター

- リユースパーツ販売
(国内リユースパーツ販売・海外リユースパーツ販売)
- リサイクル資源販売



グループトピックス

3月17日新名神高速道路の新四日市JCT～亀山西JCT間開通。当社「NSX」も通り初めをいたしました。



(株)ホンダ四輪販売三重北(Honda Cars三重北)が「第12回美し国三重市町対抗駅伝」に協賛いたしました。



自動車販売関連事業

株式会社オートモール

- ・フォルクスワーゲン
- ・アウディ三重
- ・ヴァーサス
- ・ヴァーサスプラス
- ・POINT[®]



AutoMall Group

- 新車販売 (フォルクスワーゲン・アウディ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取 (全メーカー)
- サービス

複合型店舗オートモール

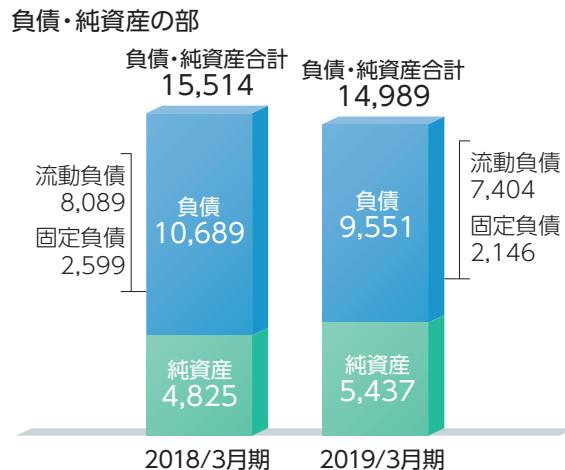
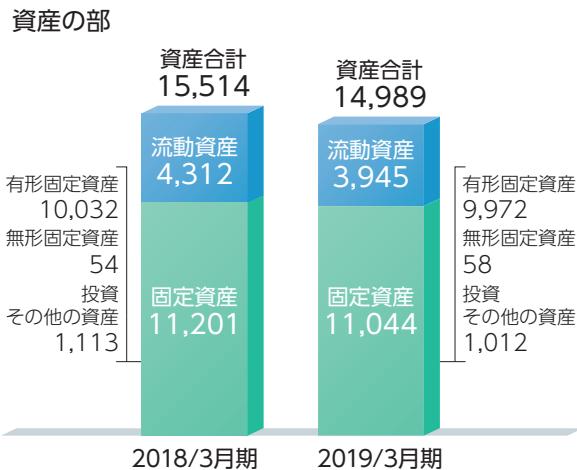
多様な業態の店舗をクロスミックスし、お客様の様々なニーズにお応えできる店舗群を展開しております。



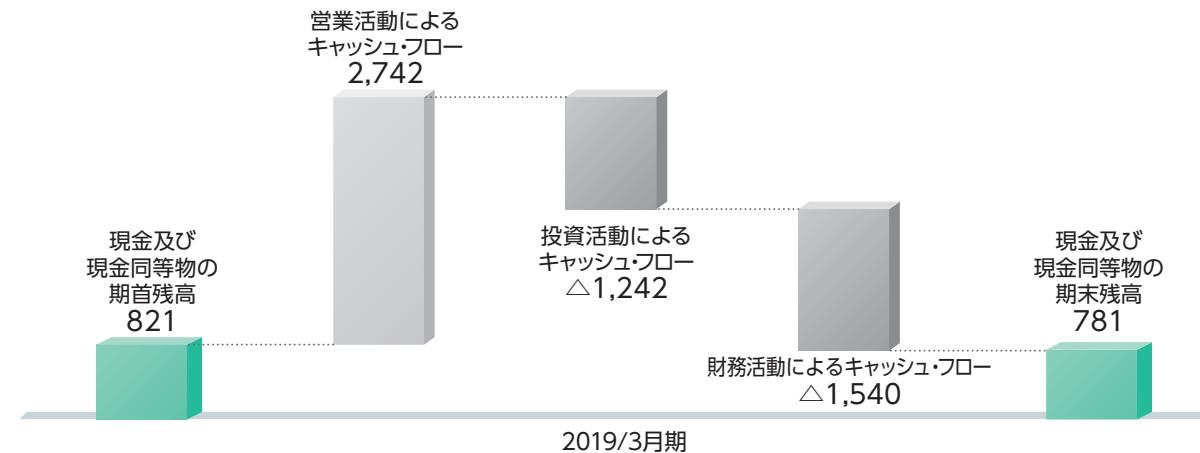
2019年3月期決算の総括

①商品在庫の回転日数短縮による資金の効率化へ ②資金の効率化が進んだことで、借入金の返済が進む ③将来に向けた大型投資のための資金調達の選択肢が増える

■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



Point 資産の部

前期末より5億25百万円減少し、149億89百万円となりました。これは主に、商品及び製品の減少4億7百万円、減価償却による建物及び構築物の減少1億33百万円、現金及び預金の減少39百万円等によるものであります。

Point 負債の部

前期末より11億37百万円減少し、95億51百万円となりました。これは主に、借入金の減少14億24百万円、買掛金の増加1億円、前受金の増加38百万円等によるものであります。

Point 営業活動によるキャッシュ・フロー

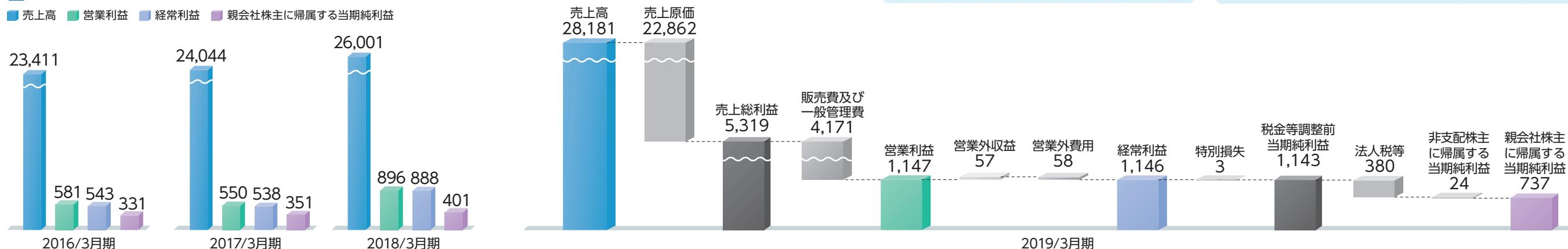
営業活動の結果得られた資金は27億42百万円(前期比14.9%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が11億43百万円、減価償却費7億円、たな卸資産の減少額11億18百万円、仕入債務の増加額1億円等による資金の増加と、法人税等の支払額3億68百万円等による資金の減少によるものであります。

Point 損益分析

国産車新車販売における好調な販売状況により、売上高281億81百万円(前期比8.4%増)、中古車販売における物流システム等の見直しによる粗利益の向上が寄与し、営業利益11億47百万円(前期比28.0%増)となりました。経常利益は11億46百万円(前期比29.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億37百万円(前期比83.9%)となりました。

■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



■ 会社概要

商号 ICDAホールディングス株式会社
International Conglomerate of Distribution
for Automobile Holdings Co.,Ltd.

設立 2009年10月1日

資本金 1,161百万円

決算期 3月31日

事業内容 自動車販売関連事業及び自動車リサイクル事業
を行う子会社の経営管理業務

従業員数 ICDAホールディングス株式会社：15名
(グループ会社) 株式会社ホンダ四輪販売三重北：241名
株式会社オートモール：81名
株式会社マーク・コーポレーション：24名
グループ総合計：361名

■ 役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長 向井 弘光
代表取締役副社長 向井 俊樹
取締役 江藤 隆仁
取締役 大洞 和也
社外取締役 高木 純一
取締役(常勤監査等委員) 桶本 進
社外取締役(監査等委員) 中西 貞徳
社外取締役(監査等委員) 渡辺 義彦

■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エム・エフ	529,270	25.20
向井 俊樹	281,430	13.40
向井 弘光	272,510	12.97
ICDAグループ社員持株会	172,226	8.20
向井 なよ子	83,970	3.99
株式会社百五銀行	63,000	3.00
株式会社三重銀行	42,000	2.00
向井 崇	40,000	1.90
米山 鐘秀	37,100	1.76
向井 未安	29,540	1.40

■ 株式の状況

発行可能株式総数 6,000,000株
発行済株式の総数 2,099,936株(自己株式64株を除く)
単元株式数 100株
株主数 777名

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
定時株主総会の基準日 毎年3月31日
剰余金の配当の基準日 3月31日
9月30日(中間配当を実施する場合)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告の方法により行います。
※ただし、事故その他やむを得ない事由によ
って電子公告による公告をすることが出来な
い場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載す
る方法とする。
(電子公告掲載URL)
<http://www.icda.jp/>

上場取引所 東京証券取引所市場第二部
名古屋証券取引所市場第二部